科目コード	S28101	科目名	臨床実習Ⅰ				
履修区分	必修	開講期	1年後期	実習期間	20日間	単位数	4単位
担当者	平松　哲哉　・　河村　千夏・　三上　裕子　・　西村　祐一						
授業の概要	臨床の場でコミュニケーション障害を持つ人に接し、対象者への理解を深めるとともに、言語聴覚士の役割と適切な行動について学ぶ。見学および面接・評価の一部を臨床実習指導者のもとで実践する。						
DPとの関連	①人間を広い領域から捉え、人を愛する心と専門技術を統合できる能力を身につける						○
	②言語聴覚障害学について深い専門的知識を修得し、それを臨床において適切に応用することができる能力を身につける						◎
	③職務遂行に必要な社会性、倫理観、専門職業人としての自覚を身に付け、多様な患者、家族、医療・福祉関係者等と円滑なコミュニケーションを取ることができる能力を身につける						○
	④複雑で多様な障害について常に科学的に探究する姿勢をもち、積極的に自己研鑽し続ける能力を身につける						○
	※DP：ディプロマ・ポリシー（修了認定の方針）＝修了までに身に付けるべき資質・能力						
到達目標	・臨床の場での接遇を理解し、実習生として適切な行動がとれる。 ・対象者とコミュニケーションを取ることができる。 ・対象者の障害像を把握できる。 ・言語聴覚士の役割を理解する。						
実習先行要件	・1月末日の時点で、専門科目の（再）試験において不合格科目がない。 ・1月末日の時点で、専門基礎科目の（再）試験において不合格科目が2科目以下である。						
履修上の注意事項	実習生としての基本ルールを守る。 準備をして臨む。						
実習スケジュール	※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。 ４週間、病院または施設で実習を行う。 実習中は、実習先の指示に従う。 事前準備やレポート提出等については、オリエンテーションで通知します。						
成績評価方法	「臨床実習の手引き」の評価表、事前準備・OSCE、実習後の報告・振り返り等に基づき評価する ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教員からのメッセージ	体調の自己管理は基本です。 受け身では学べません。自ら能動的に学ぼうとする姿勢が重要です。ただし、自己判断は禁物です。実習指導者および教員への報告・連絡・相談を心がけてください。						
教員との連絡方法	実習施設ごとに担当教員が配置されます。問題が起きていなくても、担当教員とは定期的に連絡を取るようにしてください。						
実務経験のある教員	臨床経験のある言語聴覚士が実務経験を生かして指導する。						